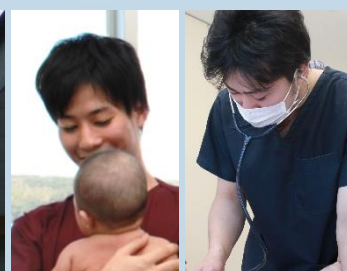


# あごねっと 便利 Vol. 23

2016/1



発行元：ながさき県北地域医療  
教育コンソーシアム  
<http://agonet.jp/>



米田 勝彦

神鋼記念病院 二次研修医  
研修先：平戸市民病院

平戸市民病院で研修させて頂きました。九州は観光で訪れたことはありましたが長崎は初めてで、平戸での研修は私にとって貴重な時間となりました。研修中一番感銘を受けたのは、患者さんと医師との関係が親密であることでした。医療者への敬意は勿論のこと、外来で手作り食材を提供して下さる姿は、非常に印象的でした。医師はカルテに書かれていない、患者の職業歴や家族関係などの社会的背景も考慮した医療が実践されており、本来あるべき医師患者関係を学ぶことができました。平戸は医療過疎地域ではありますが、市民病院は快適な医療設備が整っており、医療アクセスの難しい住民には訪問診療を行う中で、安心できる医療環境の重要性を確認できました。また外来や健診業務をさせて頂き、予防という視点を意識した診療を心がけていきたいと感じました。1月は寒波激しく雪積もる季節ではありましたが、皆様の温かいご支援のおかげで沢山の研鑽を積むことができました。ありがとうございました。



柿崎 元恒

広島鉄道病院 二次研修医  
研修先：平戸市民病院

これまで私がしてきた研修は病院内での業務が中心でしたが、平戸では訪問診療や地域住民を対象としたセミナーなど、病院外での様々な活動に参加させて頂きました。へき地医療の現場に実際に触れとても勉強になった、と同時に、今後自分自身どのような姿勢で医療に携わっていくべきか、ということのを改めて考え直すきっかけになったようにも思います。親切な地域の方々、美しい自然や温泉、もれなく美味しい魚介類に囲まれ、短い間でしたが非常に有意義な研修でした。ありがとうございました。



佐藤 航大

横浜労災病院 二次研修医  
研修先：平戸市民病院

平戸市民病院には地域研修として1カ月お世話になりました。1月3日に長崎入りし、佐世保に18時半に着きましたが、すでに平戸市民病院行きのバスはなくお買い物中の度島さんに迎えに来ていただくというアクシデントがありました。平戸には徒歩圏内には居酒屋や娯楽施設などは全くなく、自由が利かず当初はどうしようかと思いましたが、ゆっくりと考え事をしたり、夜星を見たりきれいな空気を吸ったり横浜では決して出来ないことを経験できました。休みの日には折出先生に海釣りに連れて行っていただき、大きな鯛も釣れました！これがもう絶品で人生で食べた魚でこれ以上ない美味でした。あの味は忘れられません。病院のスタッフの方や患者さんもみな親切によくしてください、慣れない環境でしたが楽しく過ごすことが出来ました。ありがとうございました！



小林 伶

静岡済生会病院 一年次研修医  
研修先：柿添病院

新幹線で4時間半、電車で2時間、バスで1時間半と乗り換えも含めて約半日かかる移動した先に待ち受けていたのは、どこか懐かしさを感じる日本最果ての平戸であった。のどかな街並み、木々が生い茂る山並み、漁船が行きかう広大な海、雄大な大自然に囲まれたこの街で僕の地域医療実習は始まった。到着した時間は、日も暮れどこかさびしげな雰囲気が漂っていたが、いざ始めると温かい人々にたくさん触れあい人見知りの僕の凍りついていた心をやさしく溶かしていった。ここ平戸での経験は僕の人生の座右の銘となるであろう。探していたものがここにはある。

Viva 平戸